



2022年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月14日

上場会社名 株式会社マイネット 上場取引所 東
 コード番号 3928 URL https://mynet.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上原 仁
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 西村 拓也 (TEL) 03-6864-4261
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家及びアナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第3四半期の連結業績（2022年1月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第3四半期	7,863	△1.6	△6	ー	△16	ー	△78	ー
2021年12月期第3四半期	7,988	ー	539	ー	514	ー	429	ー

(注) 包括利益 2022年12月期第3四半期 △67百万円 (ー%) 2021年12月期第3四半期 433百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第3四半期	△9.19	ー
2021年12月期第3四半期	49.66	49.54

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第3四半期	5,858	2,551	43.5
2021年12月期	5,814	2,817	48.3

(参考) 自己資本 2022年12月期第3四半期 2,545百万円 2021年12月期 2,812百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	ー	0.00	ー	6.00	6.00
2022年12月期	ー	6.00	ー		
2022年12月期（予想）				6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

（％表示は対前期）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期（累計）	11,000	4.1	200	△65.4	175	△68.0	120	△47.7

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規一社 除外1社 （社名）株式会社MYLOOPS

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年12月期3Q	8,710,334株	2021年12月期	8,698,760株
② 期末自己株式数	2022年12月期3Q	242,065株	2021年12月期	23,480株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年12月期3Q	8,564,462株	2021年12月期3Q	8,645,115株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(会計方針の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により極めて先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する国内ゲームアプリの市場では、中国・韓国系を中心とした海外パブリッシャーによるタイトルのシェアが年々増加しており、また、各ゲームタイトルのリッチコンテンツ化が進行しております。そのため、資金調達力などの企業体力に限界のある小・中規模事業者の淘汰が急速に進行しており、今後も事業者間の合従連衡が行われていくものと考えております。

このような市場規模のもと、当社グループは、スマートフォンゲームの運営に特化したゲームサービス事業を主力事業としております。既にリリースされているゲームタイトルをゲームメーカーから買取や協業、またはM&Aで仕入れ、国内最大数のタイトル運営で蓄積したデータ・アセット・ノウハウをシェアリングすることで収益性を高め、タイトルの長期利益化・長期運営を実現しております。また、当社グループは既存産業のDXが進む2020年代において「デジタルの力で繋がりを拡張する」というミッションの下、強みのDX技能をゲーム領域に加えスポーツ領域のコミュニティに投下し、ファンタジースポーツとクラブDXの事業化に注力しております。

当第3四半期においては、ゲームサービス事業では新たに大規模タイトルを仕入れ8月から収益貢献いたしました。引き続き、新規獲得に必要な競争力・渉外力を強化し、獲得後の長期運営に必要な運営力を高め、ゲームサービス事業での安定した利益創出を行ってまいります。また、当第3四半期において、上記1タイトルの仕入とその他2タイトルのエンディングを行い、2022年9月末時点での運営タイトル数は26となっております。

ファンタジースポーツでは、2022年9月にB.LEAGUE公認ファンタジースポーツサービス「B.LEAGUE#LIVE2022」の提供を開始いたしました。引き続き、国内市場の形成を牽引するとともに、当社における第二の柱となる事業をして確立を目指してまいります。

クラブDX事業では、プロバスケットボールチームの滋賀レイクス、プロサッカーチームのFC琉球に対して当社のDX技能を注入し、スポーツ産業の収益力向上や地域社会の活性化を促しております。

また、当第3四半期において、当社グループにおける新型コロナウイルスの影響は限定的です。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,863,099千円（前年同期比1.6%減）、営業損失は6,302千円（前年同四半期は営業利益539,791千円）、経常損失は16,661千円（前年同四半期は経常利益514,283千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は78,669千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益429,355千円）となっております。

なお、当社グループはゲームサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて、43,659千円増加し、5,858,224千円となりました。これは主に、長期前払費用の増加（前連結会計年度末比970,473千円の増加）などがあったことによるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて309,980千円増加し、3,306,567千円となりました。これは主に、長期借入金の増加（前連結会計年度末比169,001千円の増加）などがあったことによるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて266,320千円減少し、2,551,656千円となりました。これは主に、自己株式の増加（前連結会計年度末比99,975千円の増加）があったことによるものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,500,153	2,417,847
売掛金	1,063,202	—
売掛金及び契約資産	—	1,140,453
未収入金	38,825	3,324
未収還付法人税等	146,187	32
その他	252,594	497,694
貸倒引当金	△9,585	△5,209
流動資産合計	4,991,377	4,054,141
固定資産		
有形固定資産	74,387	72,865
無形固定資産		
のれん	222,933	195,180
その他	26,314	72,608
無形固定資産合計	249,248	267,788
投資その他の資産		
投資有価証券	182,291	223,292
敷金	113,891	108,114
長期前払費用	76,845	1,047,318
繰延税金資産	125,814	84,030
その他	708	674
投資その他の資産合計	499,551	1,463,428
固定資産合計	823,186	1,804,082
資産合計	5,814,564	5,858,224

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	255,287	274,922
未払金	239,077	203,379
前受金	334,447	—
契約負債	—	289,266
賞与引当金	—	38,181
短期借入金	—	161,080
1年内返済予定の長期借入金	161,048	168,187
1年内償還予定の社債	400,000	490,000
その他	252,567	175,546
流動負債合計	1,642,426	1,800,561
固定負債		
長期借入金	543,199	712,200
社債	800,000	760,000
資産除去債務	10,962	9,454
リース債務	—	5,795
その他	—	18,556
固定負債合計	1,354,161	1,506,005
負債合計	2,996,587	3,306,567
純資産の部		
株主資本		
資本金	46,483	49,631
資本剰余金	1,387,290	1,391,688
利益剰余金	1,372,940	1,188,257
自己株式	△353	△100,328
株主資本合計	2,806,360	2,529,248
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,740	16,532
その他の包括利益累計額合計	5,740	16,532
新株予約権	5,875	5,875
純資産合計	2,817,977	2,551,656
負債純資産合計	5,814,564	5,858,224

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
売上高	7,988,203	7,863,099
売上原価	4,732,018	4,867,059
売上総利益	3,256,184	2,996,040
販売費及び一般管理費	2,716,392	3,002,342
営業利益又は営業損失(△)	539,791	△6,302
営業外収益		
受取利息	25	31
為替差益	3,312	8,046
助成金収入	—	4,594
法人税等還付加算金	70	364
その他	55	2,216
営業外収益合計	3,464	15,251
営業外費用		
支払利息	4,904	8,949
社債発行費	9,539	8,811
社債利息	4,002	3,702
投資事業組合運用損	8,751	3,637
その他	1,773	511
営業外費用合計	28,972	25,610
経常利益又は経常損失(△)	514,283	△16,661
特別利益		
投資有価証券売却益	36,490	—
新株予約権戻入益	9,840	—
特別利益合計	46,330	—
特別損失		
固定資産除却損	2,260	133
減損損失	2,530	—
商品評価損	—	1,242
特別損失合計	4,791	1,376
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	555,821	△18,038
法人税、住民税及び事業税	75,092	5,997
法人税等調整額	51,374	54,633
法人税等合計	126,466	60,631
四半期純利益	429,355	△78,669
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	429,355	△78,669

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	429,355	△78,669
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,641	10,791
その他の包括利益合計	4,641	10,791
四半期包括利益	433,997	△67,878
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	433,997	△67,878
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年3月29日開催の株主総会決議に基づき、自己株式192,100株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が99,975千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が100,328千円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、当社の100%子会社である株式会社マイネットゲームスを吸収合併存続会社、株式会社マイネットゲームスの子会社である株式会社MYLOOPSを吸収合併消滅会社とする合併契約を締結し、2022年1月1日付で株式会社MYLOOPSを吸収合併いたしました。これにより、第1四半期連結会計期間より同社を連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用による主な変更点は以下のとおりです。

(スマートフォン向けゲームに係るユーザーからの課金による収入)

当社グループが運営・配信している各種アプリゲームにおける有料課金収入に係る収益は、従来ユーザーがゲーム内の有償通貨を購入した後、当該有償通貨を消費してアイテムを入手した時点で収益を認識しておりましたが、ユーザーがゲーム内アイテムを入手した時点以降のアイテム使用期間を見積り、当該見積期間に応じて収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項のただし書きに定める経過的な取扱に従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。この結果、当第3四半期連結累計期間の損益及び利益剰余金期首残高に与える影響は軽微であります。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「売掛金」は、第1四半期連結会計期間により「売掛金及び契約資産」に含めて表示しております。また、「流動負債」に表示していた「前受金」は「契約負債」に含めて表示しております。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱に従って、前連結会計年度については新たな表示方法により組替を行っておりません。さらに「四半期財務諸表に関する会計基準(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱に従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19号及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱に従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。